

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 25 日

事業所名 放課後等デイサービス 第二ピュアこだま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリー化していますが、常に見守りしながら活動しています。	転倒があった階段部分に、手すりを付けてもらい、早急に対応しました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今年度中に公開する予定です。 ※3月25日に公開しました。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者(委員の方が月に一度来園していますが、放デイの利用者さんがいる時間帯と予定が合わず、聞き取りなどを行っていない状況です。長期休みなどの機会にお会いする機会を作っていくよう、管理者と相談していきたいです。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			職員の人員配置の都合により、多くの研修に参加することが難しい状況です。可能な範囲で参加しています。今後、できるだけ、研修会に参加できるようにしていきたいです。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で意見を出し合い活動を設定するように心がけています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ラジオ体操等の室内外で身体を動かす活動を設定するようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		季節に応じた活動を設定するようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の活動の流れを職員間で話し合い、活動を設定しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員が送迎に出ているので、支援終了後の振り返りが難しいようきょうです。次の日に気になったこと等、職員間で振り返ったり、児童発達支援管理責任者が、職員各々と話をし、共有するようになっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			ガイドラインの総則について、きちんと周知し、今後、職員間で確認しあっていきたいと考えています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様に、許可をいただいた上で、情報共有等してます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要な利用者さんを受け入れる体制を作ることが難しい状況です。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	訪問し、活動の様子を見学させていただいたり、施設を見学していただき、情報共有などしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		調整会議が行われた際は、参加しています。また、相談支援専門員の方を介して情報提供・共有しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		図書館などの公共の施設の利用を積極的にするようにしていますが、施設以外の子どもたちとの活動の機会はほとんどなかったです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	管理者が参加するようにしています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎利用の方には、連絡帳を準備していただき、活動の様子をお知らせしています。	アセスメントを行い、課題や今後がんばりたいことを保護者様と一緒に確認しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様からの相談をお受けし、お話し合いをする機会を設ける等していますが、保護者様に対して、直接支援等行ったことは、今までありません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの、相談を受けたときに、場合や状況によっては、面談の機会を作っています。また、相談支援員の方に状況を報告するようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会、保護者会は現在ありません。今後、要望等あった際は、管理者や保護者の皆様と相談していく必要があります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月、事業所新聞を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○	契約時やアセスメント時に個人情報について確認し、承諾書をいただいています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルの作成はしていますが、今後、職員・保護者様への周知をもっと十分にしなければなりません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	月に1度の避難訓練を実施しています。その中で、防災頭巾のかぶり方等練習しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		今後、法人全体で虐待防止委員会を設置する予定があります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	個別の対応が必要な利用者様には、アセスメント時に個別で対応していることを保護者に伝え、了承を得ています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アセスメント時にアレルギーの有無の確認をしています。また、お薬連絡票をお渡しし、お薬を管理しています。	現在、食物アレルギーを持っている利用者様の利用がありません。受け入れや対応について今後、話し合いが必要になります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		